



第38号

発行所 馬場ケ竜区水沢
水沢高等学校同窓会
☎0197-24-3151

平成二十一年こと二〇〇九年は我々同窓生を三年間、或は四年乃至は五年間に亘って育てくれた母校が白寿(九十九歳)を迎えた年であった。そして、翌年いよいよ創立一〇〇周年となるが、その前祝いといっても言うべきことが、一年の締めくくりの大晦日にNHKのテレビ番組で見られた。その一つは皆さん良くご存じのアナウンサー阿部渉氏(昭和六十一年卒)が「紅白歌合戦」の司会者の一人として顔を見せ、もう一つは昭和五十六年卒の福井敬氏が教育テレビでの第九の演奏でテナー歌手として、その美声を全国に響かせてくれたのである。福井氏は在校時は吹奏楽部の部長だったとのことであるが、今や阿部氏同様、その道で



母校 白寿を迎えて

同窓会長 及川 源悦郎

の押しも押されぬ第一任者として活躍中である。勿論このお二人ばかりでなく、数多くの同窓生諸氏が各分野で大いに活躍されていることは今更述べるまでもないことである。目を閉ざすと、そのように私達を育ててくれた母校の様々な姿が浮かんで来る。明治四十四年に水沢実科高等女学校として産声をあげた当時の校舎等は写真でしか見る術もないが、大正十五年に水沢高等女学校となつてからの校舎は臉の裏に残っている。今は市役所となつている所の旧水沢小学校校舎の西側にあった女学校校舎の正門へ向かう吉小路からの道の両側に、これ見よとばかりに咲き誇る桜並木の素晴らしさが、今でもあり

ありと目に浮かぶのである。昭和二十一年には県立水沢中学校が開校。校舎は現在の水沢小学校の所在地であった。そして、昭和二十三年には水沢高等女学校及び水沢商業高校と合併し、全日制普通科・商業科並びに定時制普通科の水沢高校として発足。昭和二十四年に現在の龍ヶ馬場への新校舎建設が始まり、二十七年には、兵舎まがいの建物ではあるが、阿部庄一郎先生が作詞の「水高賛歌」にもあるように「見はるかす大グラウンド」を伴う新校舎が完成。そして、二十三年の歳月を経て、昭和五十一年には現在の白亜の校舎への教室等全ての移転が完了したのであった。振り返ってみると、言うまでもなく、月日の

過ぎるのはまさに光陰矢の如しである。同窓生諸氏にもそれぞれ、何物にも換えがたい多くの思い出があるが、本年十月十六日に開催の創立百周年記念の式典には出来る限り多数の方々に参加され、祝賀会の席で数々の思い出をはじめ、過ぎ去りし日々あの頃のようには色々語り合いたいものである。最後に記した通り、恐縮ですが、これまで今回の記念行事に深いご理解と多大なるご協力を賜わって参りました方々に厚く御礼申し上げますと共に、諸行事の成功は勿論母校水高が更なる発展を遂げるように温かく、且つ力強い更なるご支援のほどを同窓生皆様からお願い申し上げます。

バンカラ



校長 伊藤 勝

毎朝、七時半になると屋上から声が響き渡る。発声練習から始まり、八時十五分からの校歌斉唱で終了する。応援団の鍛錬で、初めは三年生が指導していたが、現在は二年生六人、後四人増える見込みという。「長い応援をしつかりやるためには、鍛錬は当然です」三年生の弁である。

県内伝統校でも希望者がなく休団する学校を聞く中で、自主的に立候補し自ら鍛えている姿を見ると、ここにも長い伝統が息づいている、と思う。バンカラは服装の在り方、が一般的認識である。ハイカラに対する意識であり、外見に囚われず精神の高みを目指す、それを表現するものという。僧は全てを捨てて教えに生きることを自ら誓い、その証として剃髪する。形に過ぎないとも言えるが、髪を剃ることの重大性は多くの国の受刑者が短髪であることから理解できよう。修業僧や求道者のように、全てを捨てて精進する象徴として弊衣破帽を選ぶ。つまり、退路を断ち、厳しい自律、自己鍛錬を自らに課そうということなのである。

バンカラを劇場映画にしたい、と企画している卒業生がおられる。県内伝統校にあつては、本校のバンカラは新参で、弊衣破帽の時期も短い。しかし、ある時期の応援団を描くことで、本校に続く「心」を象徴したいと意気込み、ドイツの映画祭にも企画を提出、好評を博したとのこと。

ロケ地に龍ヶ馬場を使い、校名も「水沢高校」としたいなど、様々な要望があつたが、今後シナリオを拝見し、具体的にどんな協力が可能か協議することをお願ひしている。どの時代も一度限りの高校生活をここに送り、それぞれの思い出がある。だから、別のどの時期を示されても違和感があり、不満を持つ。「自分たちの頃は・・・」小異に拘らなければ「水高」に流れる不変のものは自ずと見えてこよう。それは「夢」「理想」「真理」表現は様々だろうが、精神としての「バンカラ」も、昔から今も続いていると思う。若き日に求めたものは何であったか、同窓生一人一人が思いを致すよすがとなる作品を期待している。

創立百周年記念事業協賛会定期総会・同窓会総会・記念講演会 報告

平成二十一年八月八日(土)午後一時から水沢グランドホテルにおいて、創立百周年記念事業協賛会定期総会、同窓会総会及び記念講演会、懇親会が開催されました。平成二十一年度は、水高創立百周年の前年度ということもあり、例年にまして延べ七十八名の方々にご参会いただき、盛大な会となりました。

同窓会総会では、概ね例年通りの内容の提起となりました。ただし、平成十九年度から同窓会事業として行っている、新入生への校歌応援歌CDの配布に関わって、第一応援歌の吹き替えを行い、原盤を更新して事業を継続する議案の承認をいただきましたのが例年と異なる点です。と言いますのは、歌詞の一部がいつの頃からか誤って歌われており、現行のCDもそれに倣って吹き込みを行っていました。しかし、同窓会副会長の鈴木慧氏から、作詞されたものと違っているとの指摘をいただき、本来の形に戻そうということになりました。現在はすでに吹き込みも完了して、原盤を作成中です。新年度入学生からこのCDを配布し、これを機に応援歌練習などの機会を通して生徒諸君に周知を図ろうと思っております。因みに、誤りの箇所は「我らの選手いまここに」ですが、本来は「我らが選手いまここに」であったというものです。

創立百周年記念事業協賛会定期総会では、一年前の設立総会からの流れと現状の報告、今後の課題などについて話し合われました。創立百周年記念事業につきましては、別ページで内容をご紹介しますので、そちらをご覧ください。

両総会終了後、引き続き平成二十一年度同窓会総会記念講演会となりました。講師は昭和五十二年三月卒の千田善氏(二十九回生)です。サッカーワールドカップ日本代表チームの元監督オシム氏の通訳をなさっていた方で、東欧の諸問題に造詣の深いジャーナリストでもありますので、ご存じの方々も多いのではないかと思います。当日は、オシム・ジャパンの秘話を中心に、聞いていて勇気が湧いてくるようなお話を頂戴いたしました。実は、総会にも懇親会にもご出席いただけず、この講演会だけという方々もいらっしゃって、事務局としてはうれいような、残念なような複雑な気持ちもし

ましたが、それだけ魅力ある講師にお話を頂戴できたことは、本当にありがたいことだと思えました。紙面の都合でご講演の内容をご紹介できないのは残念ですが、生徒諸君には文化祭の折にビデオ放映を行い聴講してもらいました。

その後懇親会となりましたが、こちらには七十一名のご参会をいただき、和やかに旧交を温め、また、創立百周年に向け意気盛んな会合となりました。お酒も進んであらこちらで話の花が咲き、時が経つのも忘れる楽しさで、気がついたときには校歌斉唱の運びとなっておりました。そのあたりのことはもう筆者も記憶が定かではありませんが、さすが水高同窓生の諸氏で、その校歌の立派だったことだけは申し添えておきます。

最後になりますが、同窓会役員の皆様やわざわざ遠くからお運びいただいた各支部の方々、時間を作ってご参会いただいた同窓生諸氏、そして水高及び同窓会の活動を見守り、支えていただいている、すべての同窓生の皆様に感謝を申し上げ、改めて、今後の水高の発展のためにこれまで以上のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



盛岡支部総会

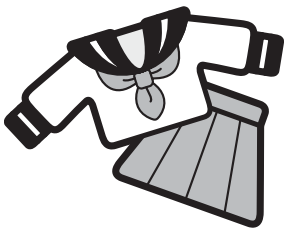
7月10日(金)サンセール盛岡において、定例の盛岡支部総会が開催されました。例年のようにたくさんの方々のご参加されて盛大な総会となりました。やはり100周年に向けた意識の高まりも感じられ、また、例年のことですが野球部への激励金を頂戴いたしました。ご参加の皆様のご近況報告もあり、和やかな内にも本当に楽しい一時を過ごしました。

関東地区同窓会総会

盛会裏に終わる
新会長に只野康夫氏選出
第15回関東地区同窓会総会が11月14日(土)、東京グリーンパレスを会場に行われました。総会では、平成19年度の活動報告、平成21年度活動方針等の他、同窓会会計の中から「創立百周年事業」及び「水高育英会」への寄付を行うことを決定しました。また、役員選出では勇退する小野スミ子会長に代わり新会長に只野康夫氏(第10回生)を選出。新役員体制を発足させました。

胆沢支部総会

7月25日(土)焼石クアパークひめかゆを会場に盛大に行われました。これまで長年にわたって支部長を務められた五嶋新二氏(S31卒)が勇退となり、阿部瑞郎氏(S32卒)が新支部長に就任されました。約30名の参加者が水高創立100周年に向けて、大いに盛り上がり懇親を深めました。



講演の後、参加した約100名が久しく懇談しました。懇親会の席上で創立100周年記念事業へ支部としてのご寄付を頂戴いたしました。



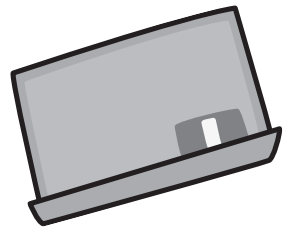
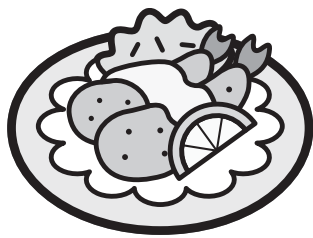
▲関東地区同窓会が賑々しく開催されました

名古屋支部総会

11月21日(土)1泊2日の日程で、知多半島に位置して眺望も素晴らしい豊浜荘にて約15名が集って名古屋支部総会が5年ぶりに開催されました。こちらの総会へは残念ながら同窓会長の及川源悦郎氏のご出席できませんでしたが、副会長の後藤康次氏にご参加いただきました。総会ではこれまでの会計報告や活動報告がなされ、創立100周年記念事業への支部としてのご寄付も頂戴いたしました。懇親会では、さすが名古屋ともいえるべき大きなエビフライの山盛りを始めとして、すごい馳走が並んで、人数こそ少ないものの大変にぎやかで楽しい会となりました。

仙台支部総会

1月22日(金)ハーネル仙台において、在仙・水沢高等学校同窓会が開催されました。50名近くの参加となって、会場も狭く感じられるほどでした。総会では、規約や支部役員態勢について話し合われ、特にも支部長の菅野國夫氏(4回生)は水高創立100周年記念式典が行われる今年10月まで在任なされ、その後齊藤健氏(11回生)が支部長に就任されることが決まりました。懇親会では、旧交を温めたり年代ごとに近況報告もなされたりして、とても和やかな支部総会でした。



2009年(平成21年) 11月8日(日曜日)

〇：盛岡市で7月、2日間の日程で開催された「環境生活部長は『美しき日本』の危機訴え」

環境生活部長は「美しき日本」の危機訴え

「美しい日本語」の危機訴え

〇：花巻市内で、俳句や短歌などの文化大会を開催した。盛岡市市民会館で、重要文化財の『美しき日本』の危機訴え。環境生活部長は「美しき日本」の危機訴え。環境生活部長は「美しき日本」の危機訴え。

「美しい日本語」の危機訴え

〇：花巻市内で、俳句や短歌などの文化大会を開催した。盛岡市市民会館で、重要文化財の『美しき日本』の危機訴え。環境生活部長は「美しき日本」の危機訴え。環境生活部長は「美しき日本」の危機訴え。

東京発 再会いわて

魅力ある本出したい

雑誌「歌の手帖」や雑誌「音楽」の編集者として、多くの書籍を出版した。再会いわての編集者として、多くの書籍を出版した。再会いわての編集者として、多くの書籍を出版した。

水沢高卒。上京後、1966年自由国民社に入社。三才ブックスを経て、87年にマガジンランド代表取締役。66歳。東京都杉並区在住。

伊藤 英俊さん (高14回・昭和37卒) 岩手日報

'09 クローズアップ

※12月末日までに岩手日報と胆江日日新聞に掲載された記事を中心に集めております。他紙のものやチェック漏れで掲載できなかったものについてはご容赦下さい。

第28回県下俳句大会席題の部大会賞に輝いた 梅森 サタさん

梅森 サタさん (高女19回・昭和20卒) 岩手日報

俳句大会で賞状を手にした梅森サタさん。俳句大会で賞状を手にした梅森サタさん。俳句大会で賞状を手にした梅森サタさん。

俳句大会で賞状を手にした梅森サタさん。俳句大会で賞状を手にした梅森サタさん。俳句大会で賞状を手にした梅森サタさん。

2009年(平成21年) 4月27日(月曜日)

奥州・胆沢 NPO法人 エコスタディいさわ

奥州・胆沢 NPO法人 エコスタディいさわ。奥州・胆沢 NPO法人 エコスタディいさわ。奥州・胆沢 NPO法人 エコスタディいさわ。

奥州・胆沢 NPO法人 エコスタディいさわ。奥州・胆沢 NPO法人 エコスタディいさわ。奥州・胆沢 NPO法人 エコスタディいさわ。

押切郁(高女21回・昭和22卒)岩手日報 伊藤英俊(高14回・昭和37卒)岩手日報

胆江日日新聞 2009年(平成21年) 5月9日(土曜日)第21816号 第2社会面 6

えび郷文化館の新館に就いた 相原 康二さん (65)

相原 康二さん (高14回・昭和37卒) 胆江日日新聞

相原康二さんの肖像写真とインタビュー記事の抜粋。相原康二さんの肖像写真とインタビュー記事の抜粋。

相原康二さんの肖像写真とインタビュー記事の抜粋。相原康二さんの肖像写真とインタビュー記事の抜粋。

梅森サタ(高女19回・昭和20卒)岩手日報

2009年(平成21年) 3月7日(土曜日) 岩手日報

「県人の作品で満たせた」 佐々木英也館長 今月退任、思い語る

佐々木英也館長 (高3回・昭和26卒) 岩手日報

佐々木英也館長の肖像写真とインタビュー記事。佐々木英也館長の肖像写真とインタビュー記事。

佐々木英也館長の肖像写真とインタビュー記事。佐々木英也館長の肖像写真とインタビュー記事。

80回を迎え 記録集 7年の歩み写真で紹介

村上天明 (高6回・昭和29卒) 岩手日報

村上天明さんの肖像写真とインタビュー記事。村上天明さんの肖像写真とインタビュー記事。

村上天明さんの肖像写真とインタビュー記事。村上天明さんの肖像写真とインタビュー記事。

相原康二(高14回・昭和37卒)胆江日日新聞

県教育委員長に就任した 八重 勝さん

八重 勝さん (高13回・昭和36卒) 岩手日報

八重勝さんの肖像写真とインタビュー記事。八重勝さんの肖像写真とインタビュー記事。

八重勝さんの肖像写真とインタビュー記事。八重勝さんの肖像写真とインタビュー記事。

日本一短い手紙コンクールで大賞に選ばれた 若 正 力さん

若 正 力さん (高15回・昭和38卒) 岩手日報

若正力さんの肖像写真とインタビュー記事。若正力さんの肖像写真とインタビュー記事。

若正力さんの肖像写真とインタビュー記事。若正力さんの肖像写真とインタビュー記事。

長英研究の著書を母校に 千田捷照さん 水沢高に2冊贈る

千田捷照さん (高13回・昭和36卒) 岩手日報

千田捷照さんの肖像写真とインタビュー記事。千田捷照さんの肖像写真とインタビュー記事。

千田捷照さんの肖像写真とインタビュー記事。千田捷照さんの肖像写真とインタビュー記事。

八重勝(高13回・昭和36卒)岩手日報

若正力(高15回・昭和38卒)岩手日報

千田捷照(高13回・昭和36卒)岩手日報

佐々木英也(高3回・昭和26卒)岩手日報

自家製のおいしさ 食卓に

子工業部 万々(3)



金ヶ崎町西根吉田の緑豊かな土地、お目見えした工場の片田舎風建物、地元産の小麦100%使用した乳製パンを製造する工場、兼店舗「カッパ」で、その経営者オナーとして、毎日の笑顔を送っている。
渡辺みゆきさん(43)

渡辺みゆき(高34回・昭和57卒)胆江日日新聞

来館者に憩いと安らぎ

吉田 政さん(60)



市立本図書館第14代館長に就任した。
吉田 政さん(60)
市立本図書館第14代館長に就任した。地域への恩返しのもので、館を4月1日から務める。17年、長きに引き受けたと振り返る。
仕事は、スキーやゴルフ、野球、キャンプ、カヌー(小艇)など多彩な趣味を持つ。

吉田政(高3回・昭和42卒)胆江日日新聞

「星めぐり」曲に乗せて

賢治の歌 見事入賞果たす 詩歌を独自にアレンジ

花巻市文化会館でこのほど開かれた第3回「賢治の星めぐり」全国大会2009で、県立前沢高校理科教師の小野寺幸利さん(46)と、盛岡市愛宕町一と、歯科医師の箱崎浩介さん(45)一水沢区字新小路一のグループ「Happy☆Box」が入賞を果たした。富沢賢治の詩歌を独自にアレンジした作品を披露。審査員の共感を呼んだ。



小野寺さん(左)と箱崎さん(右)
「星めぐり」のアレンジ作品を披露し、入賞を果たした小野寺さん(左)と箱崎さん

「星めぐり」の歌、賢治の詩歌を独自にアレンジした作品を披露し、入賞を果たした小野寺さん(左)と箱崎さん(右)。

小野寺・箱崎(高34回・昭和57卒)胆江日日新聞

「周囲の支えに感謝」



東北大記念賞受賞の村上栄一
村上栄一(高25回・昭和48卒)胆江日日新聞

水沢管内の死体検案数が1千体を超えた



今野 譲二さん
検案業務に携わり15年。検査数が県内トップクラスの水沢管内で、その半以上の年間1000件近くを担当。死因の特定に奔走する。
老人や結核の若者自殺、世帯に心を動かされた。昼夜問わず110の死に冷静向き合ってきた人間を診て、医師は「生かす」と思っている。

今野譲二(高23回・昭和46卒)岩手日報

東京発 再会いわて



菊池 恩恵(高24回・昭和47卒)岩手日報

日報アンテナ

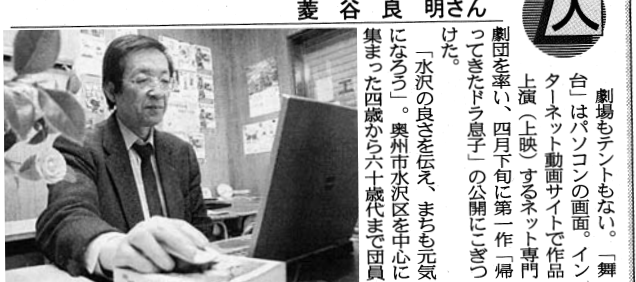
東北地方で地方自治体の問題を調査研究する。
日報アンテナ
東北地方で地方自治体の問題を調査研究する。福馬に次いで3番目。「住民の目線で差した課題を解決したい」と意気込む。

連携強め育児環境充実へ

奥州市、金ヶ崎町のなで子どもを育てる環境を。
連携強め育児環境充実へ
奥州市、金ヶ崎町のなで子どもを育てる環境を。読み聞かせ団体に、胆江ゆめネットワークによる胆江ゆめネットワークは、市内の各保育園に力を入れる。新着戸智子実行委員長。市近藤光則観光戦略担当。市近藤光則観光戦略担当。市近藤光則観光戦略担当。

新渡戸智子(高18回・昭和41卒)岩手日報

インターネット動画投稿サイト専門劇団「大町小町」代表



インターネット動画投稿サイト専門劇団「大町小町」代表
インターネット動画投稿サイト専門劇団「大町小町」代表
インターネット動画投稿サイト専門劇団「大町小町」代表

菱谷良明(高28回・昭和51卒)岩手日報

岩手県立水沢高等学校創立100周年記念行事のご案内

平成22年10月16日(土)

記念式典・記念講演会 奥州市文化会館 Z ホール
祝賀会 プラザイン水沢

創立100周年を記念した式典及び祝賀会は、平成22年10月16日(土)にそれぞれ奥州市文化会館(Zホール)、ホテルプラザイン水沢を会場に開催を予定しています。式典を前に、午前は校舎見学会も行われる予定です。また当日は世界的なテナー歌手の福井敬氏(S56年卒第33回生)がおいでになり、美声を披露される予定です。

たくさんの方々のご参会をお待ちしております。
現在のところ、当日の予定は次の通りです。

学校見学会	10:00~12:00	送迎バス・昼食付き
	10:00	東北新幹線水沢江刺駅送迎バス出発
	10:20	東北本線水沢駅送迎バス経由
	10:30	水高到着・学校見学会
	※ご希望の方には昼食のお弁当をご用意いたします。	
記念式典・アトラクション	12:30~14:30	Zホール
	12:15	Zホール送迎バス到着
記念講演会	14:40~16:10	Zホール
祝賀会	16:45~18:45	プラザイン水沢

- 費用につきましては、
- ・送迎バスご利用は無料。
 - ・昼食のお弁当は実費を申し受けます。(ご希望の場合追ってご案内いたします。)
 - ・記念式典、アトラクション、記念講演会へのご参加は無料。
 - ・祝賀会は5,000円の参加費を頂戴いたします。

参加をご希望の方は同封のファックス用紙Ⅱにて5月末日までにお申し込みください。

ご参加のお申し込みをいただいた方には、追って当日の詳細と諸費用の振り込み用紙をお送りいたします。

100周年記念事業にJMSN

創立100周年に向けた準備が進行中です。皆様にもその一端をご紹介しながら、今後ますますのご理解とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

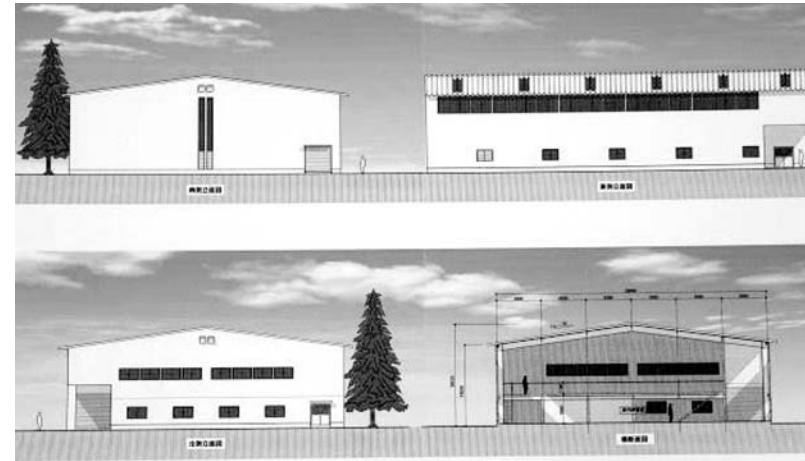
多目的運動場の建設

水高創立100周年の記念事業として、多目的運動場を建設しようと準備が進んでいます。これは、野外で活動する運動部が冬場や悪天候のもとでも練習可能なようにと考えられたものです。

創立80周年の際は、校舎北東に志学館を建設していただき、授業や課外、生徒の学習の場や学年集会等々の行事に大いに活用されてきました。その効果もあって学習面、進路面での成果もあがってきています。

また、近年は文化部の活動も顕著で全国高総文祭などへの参加も相次いでいます。運動部も女子サッカー部や卓球部をはじめ各部の活躍もありますが全国大会まであと一歩二歩という部が少なくありません。そうした運動部への期待と激励の意味も込めて、多目的屋内運動場の建設となったものです。

場所は第二体育館の南側で現在のハンドボールコート場です。鉄骨造り2階建て、延べ床面積一〇五八・八六平方メートル(三三〇・三坪)で計画が進んでいます。4月度着工、9月には完成の予定です。



記念講演講師に菊地広哉氏(IMG日本支社代表)
記念式典後の記念講演ではIMG日本支社代表の菊地広哉氏(同窓生・高28回卒)に講師をお願いすることになりました。IMG日本支社は、浅田真央選手やタイガーウッズ選手などの世界のトップアスリートのマネジメントを行っています。菊地さんは大学卒業後、広告代理店大手の博報堂に入社し、サッカーのJリーグの立ち上げにも関わった経歴をもちます。そうした経験から多くの聴衆に馴染みのある話題で、生徒達にも勇気と希望を与えられるような講演が期待されています。

創立100周年記念誌専門委員会

平成23年2月に刊行予定で、ただ今記念誌編集を進行中です。記念誌購入をご希望の方は同封のファックス用紙Ⅱにてお知らせください。現時点での販売予定価格は4,000円と考えております。

※式典・祝賀会のご参加と記念誌購入をご希望なさる方へ

前述の通り、ファックス用紙Ⅱにて事前にお知らせください。式典当日の日程・費用・販売価格が6月の創立100周年記念事業協賛会定期総会を経て決定いたします。ご連絡をいただいた方々へは、7月中旬に詳細のご案内と諸費用納入用の振り込み用紙をお送りいたします。事前の申込みの期限は特に定めませんが、5月中にお申し込みをいただきますと幸いです。

なお、ファックスがご利用できない方につきましては、お手数をおかけいたしますが、ファックス用紙Ⅱに必要事項をご記入の上、事務局まで郵送をお願いいたします。

100周年募金について

お陰様をもちまして、たくさんの方々のご厚情を賜っております。大変ありがとうございます。

現在の状況をお知らせいたします。
1,292名(団体を含む)の方々から、
15,206,690円の募金を頂戴しております。

(2月13日現在)

目標額は4,700万円ですので、もう少しで1/3に到達するところです。募金のご協力をお願いする期間はまだ続きますので、どうかよろしく願いいたします。本来であればすでにご協力を賜った方々お一人お一人のお名前をご紹介すべきところですが、途中経過ですので、記念式典や次回の会報にて改めて御礼を申し上げます。ご了承ください。

岩手県立水沢高等学校創立100周年記念事業協賛会・実行委員会 役員名簿

Table with 4 columns: 協賛会役職, 役職, 実行委員会役職, 氏名. Lists names and roles of the organizing committee members.

『高女時代を語る』

座談会行われる

11月8日(日)、水高創立100周年記念誌企画として『高女時代を語る』座談会が行われました。会場は水沢高校応接室です。

この日、参加いただいたのは高橋貞子さん(高女13回)、浅倉牧子さん(高女15回)、城康さん(高女20回)、小野伊豫さん(高女21回)の4名。司会は記念誌編集委員長の鈴木慧先生です。

懐かしさに話も弾む座談会
話題は、①当時の思い出、②水高生に期待すること、③創立100周年を迎え新たな百年に向けてなどを中心に縦横に懇談。なかには数十年ぶりの再会という方もおり、女学校時代の桜並木の写真や記念誌を見てはお互いに回想しながら話も弾む座談会となりました。

水高生への熱い期待も

そんな中で、今の水高生への期待も熱く寄せられ、「高女時代当時は、女学校に行くというのとは特別なことで各村から二人くらいしかいなかった。女子はへたに教育すると屁理屈を言うから、学問させるものではないという風潮があった。しかし、もっと勉強を教えてもらえばよかった。今と違って、女の子は上の学校へ行けない時代ではあったが、これからの女の子には何かをしつかり身につけて行ってほしい。」など体験に裏付けられた確かな思いが語られました。



修学旅行での校歌奉納の歴史

修学旅行先の薬師寺での校歌奉納は水沢高校修学旅行団の伝統行事となってきましたが、こうしたイベントはいつ頃から行われるようになったのでしょうか。生徒会誌「みずこう」により、一九六五年(S40年)以降の修学旅行を辿ってみました。

「伊勢神宮・3月」時代
六五年から六八年(43年)までは伊勢神宮経由で奈良・京都方面へ二班に分かれての修学旅行だったようです。時期は三月末の春休み中。この頃、校歌を奉納したかどうかは不明です。

「北海道・夏」時代
六九年、七〇年は北海道。それぞれ8月、7月に一週間かけて行っていました。当時応援団リーダーの菊池恩恵氏(S47年卒)から貴重な写真(左)を見せて頂きました。青函連絡船上での校歌奉納の様子です。この頃から修学旅行先で校歌を歌うようになったようです。

「東北一周・9月」時代
翌年七一年からの三年間は東北一周そして南東北の旅となります。「みずこう」には蔵王のお釜や吾妻小富士で校歌を歌ったと記録がありました。

比叡山で校歌奉納
一九七四年(S49年)から七七年までは旅行先が京都・奈良へと変わり、このときは比叡山・延暦寺で校歌の奉納がありました。

関西旅行実現運動
七八年、七九年は再び東北・会津へと旅先が変更。この変更に対し、京都旅行実行委員会が組織され、署名運動など関西旅行実現運動が展開されました。その影響もあってか八〇年には京都・奈良方面そして延暦寺での校歌奉納が再開されました。

薬師寺での校歌奉納
薬師寺での校歌奉納は、一九八四年(S59年)が最初のようにです。八七年以降は薬師寺での校歌奉納が定着していったようです。2年生の応援団リーダーの選出が間に合わず、野球部員が校歌奉納のタクトをかって出た年もあったようです。伝統を引き継ぎ歴史を刻んできた水高の薬師寺校歌奉納。今では薬師寺でも名物行事になっているようです。



▲1970年7月23日 青函連絡船上での応援団

現役生も頑張ってます

100周年キャッチコピー&キャラクター決まる!

百周年に向けての雰囲気在校内外に作っていかうと生徒会が中心となってアンケートなどに取り組み、5月初めには『築け、新たな歴史～飛龍二世紀～』というキャッチコピーが、そしてこのほど図のようなキャラクターが決定されました。

キャッチコピーはさっそく5月10日に行われた水高大運動会で披露され、同20日の高総体開会式では2万人を超す観衆の中、水高選手団が横断幕を持つての堂々の行進で県下の高校にアピールしました。

図のキャラクターは、門馬花桜さん(2年)の原案に美術部の山本美星子さん(3年)がアレンジしたもので、水沢高校という宝の玉を龍が抱きかかえています。

これらは創立百周年に向けて地域や県内に大いにアピールする力となるものです。

「築け新たな歴史～飛龍二世紀～」

キャッチコピー



キャラクター

水高生 文武に活躍相次ぐ

短詩同好会

5年連続俳句甲子園全国大会へ
第12回全国高等学校俳句選手権大会(俳句甲子園)東北地区大会が仙台市で行われ、水沢高校短詩同好会が優勝。8月7日からの松山市で行われる全国大会に5年連続出場の花冠を獲得しました。
今回の出場者は、羽藤秀美さん、那須川彩子さん、山本美星子さん、千田彩花さん、横田夏子さんの5名でした。

県卓球選手権で準優勝菅原将樹君(2年) 全日本選手権大会出場へ

10月4日、奥州市のZアリーナで岩手県卓球選手権大会が行われました。ジュニアの部に出場した菅原将樹君(2年)は、決勝で専大北上高の選手に惜しくも敗れたものの堂々の準優勝。全日本卓球選手権大会(ジュニアの部)へ県代表として出場しました。

高校生シンポジウム・ポスター発表で最優秀受賞 金野耕大君(2年)

10月3日(土)、東北大学工学部青葉記念会館にて、高校生シンポジウム「21世紀を拓くプラズマ科学」が行われました。これは科学振興機構(JST)等が支援し、東北大学工学部研究科、プラズマ・核融合学会が主催したものです。

このシンポジウムに金野耕大君(2年)が「レーザー干渉計をつかった結晶成長メカニズムの研究」と題してポスター発表し、見事に最優秀賞を受賞しました。ポスター発表には全国から18本の発表があり、金野君は福島県立福島高校の後藤弘巨君と共同研究したものを発表しまし

第12回神奈川大学全国高校生俳句大会

水高が4年連続団体賞優秀校に
全国から参加189校、10,015通もの応募で年々その規模を増している全国高校生俳句大会に水沢高校が4年連続の団体賞優秀賞に輝きました。
とりわけ、最優秀賞5点の中に水高から2点が選出されたことは特筆されます。

【最優秀賞】 山本美星子さん(3年)

分度器のてっぺん猛暑が立っている
鶏頭を切れば動脈ほどの赤
汗に泥混じりて生命線太し

千田 彩花さん(3年)

文庫本弟の手の涼しさよ

人間論語る弟夏座敷
静けさや誘蛾灯見て母を待つ

また、入選65点の中に水沢高校から8点が入りました。上記2名の他、名須川彩子さん(3年)、羽藤秀美さん(3年)、福田かおりさん(1年)の3名が入選しました。

た。二人は身の回りにあふれている様々な物質の結晶の成長過程に注目し、ヨウ化カドミウムと塩素酸ナトリウムの結晶成長について観察しながらその特徴を解析しまとめました。とりわけ光の干渉を利用して測定方法をとることで、短時間で非常に遅い成長速度の測定に成功しており、優れた研究発表であると高く評価されたものです。

水高生ら「Z星研究調査隊」新星3個、大発見の快挙!

奥州市にある国立天文台VLTB1観測所が8月5〜7日の日程で行った観測会で、水沢高校2年の佐々木宏和君、千田稜君、高橋潤君らが新星3個を新たに発見し世界的(一)な話題となっています。

天の川周辺で発見

この観測会は県内の高校4校から10人が「Z星研究調査隊」として参加し、泊まりがけで行ったものです。観測とデータ解析は3班に分かれて昼夜交代で実施しました。
8月6日の未明、石垣島(沖縄)と父島(東京・小笠原)にある電波望遠鏡を遠隔操作して天の川周辺を観測中に南の空のはくちよう座とわし座付近の3箇所から電波をキャッチ。それがなんと地球から六千〜一万光年の距離にあると見られる新天体からのものと分かったのです。

一度に3個は大快挙

発見した3個の星はメーザー天体といわれるもので、惑星に成長する前段階の天体です。主な中身は水蒸気。肉眼では見えないが、安定した強い電波を出すため電波望遠鏡で観察します。これまでに

千個程度が発見されていますが、メーザー天体の高校生による発見は沖縄県石垣島で2例あり、いずれも1個の発見。近年では世界の専門家の観測でも年に10個ほどしか見つからないもののように、一度に3個もの発見は大快挙というわけです。国立天文台では、新天体の正確な位置や距離などを特定し、今年3月の日本天文学会で発表する予定です。

【平成21年度岩手県高校生文芸コンクール】 児童文学部門 最優秀賞『花神の壺』

巖重紀さん(3年)
県文芸コンクール児童文学部門では巖重紀さん(3年)の作品が最優秀賞を受賞。山形県で行われる文芸道場北海道・東北大会での県代表となりました。

エコノミクス甲子園岩手大会 水高(及川・金野組)初優勝

全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」岩手大会が11月23日、盛岡市岩手銀行本店を会場に行われ、本校2年の及川哲君、金野耕大君チームが初優勝を飾りました。
この大会は、NPO法人金融知力普及協会の主催により2006年度から行われているもので、今回で四回目を迎えます。第1回から3回までの優勝校はラ・サール高校、開成高校、東大寺学園高校と全国高校生クイズ選手権などではお馴染みの強豪校です。
今回、県内では岩手銀行も主催に加わり初の大会となりました。岩手大会では県内4校から2人一組の8チームが参加予選を勝ち抜いた4チームが決勝ラウンドに進出し、金融・経済に関する問題や時事問題に早押しクイズ形式で解答を競

いました。

7年ぶり14回目

県新人戦優勝 サッカー部女子
県高校新人戦サッカー競技が11月14日、宮古市・老木公園などを会場に行われ、本校女子サッカー部が7年ぶり14回目の優勝に輝きました。

準々決勝から登場した本校チームは初戦花北青雲にPK戦の末、4・3で勝利。この初戦突破で勢いづいた水沢は、準決勝、決勝と快勝。22年2月、福島県で行われる東北高校新人大会の出場権と平成22年6月岩手県高校総合体育大会シード権を獲得しました。

【準決勝】	水沢	6・1	宮古商業
【決勝】	水沢	10・0	釜石・大槌合同
【2回戦】	水沢	0・0	PK 4・3 花北青雲

2009年(平成21年)11月19日(木曜日)第22005号

躍動して 未来の

女子サッカー

7年ぶりに優勝した水沢女子サッカーチーム (チーム提供)

前号(第37号)での同窓会へのご寄付をいただいた方々の記載について(お詫びと報告)

前号において、同窓会へご寄付をお寄せいただいた方々の中で、同窓会報の中でのご報告に記載漏れがございました。大変ご迷惑をおかけいたしました。まことに申し訳ございませんでした。ここに改めて記載漏れのごございました方々をご紹介申し上げ、お詫びとともに御礼を申し上げ、今後とも同窓会活動へのご理解とご支援をお願い申し上げます。

(敬称は省略しています)

Table listing names of donors and their amounts, organized by school type (National, Private, Public, etc.).

同窓会・水高育英会へのご寄付ありがとうございました

前号の同窓会報では、同窓会・水高育英会への募金の振り込み用紙を同封しませんでしたでしたが、わざわざご寄付を賜りました。本当にありがとうございました。平成21年度と22年度は100周年記念事業への募金をお願いする関係で、同窓会・水高育英会は何か乗り切ろうとの算段でしたが、このように暖かいご支援に心から感謝申し上げます、次の通りご紹介いたします。なお、個人のお名前はあいうえお順としています。

【同窓会へのご寄付】(平成22年1月末現在・敬称略)

及川源悦郎 木村恵也 鈴木徳 村上倍達

【水高育英会へのご寄付】(平成22年1月末現在・敬称略)

阿部健秀 池田美沙子 伊藤梧郎 藤村康道
及川源悦郎 及川整 及川武一 藤村利清
小野田富真之助 小野寺清哉 小野寺村小野寺文
鎌田晴子 小野寺吉彦 小野寺村小野寺文
斎藤晴正 佐々木勲 佐々木隆一 藤村利清
菅原寛 鈴木登巳夫 高野鴻一 藤村利清
高橋勝也 千葉龍二 羽岡洋 藤村利清
千藤春芳 朴弘康 村上根
柳田善雄 山口成実 村上根
渡邊恵子 水沢高校関東地区同窓会

同窓生の著書(図書館への寄贈本)

- 朝倉宏哉(昭和31年卒)『朝倉宏哉詩選集140篇』
高橋春夫(昭和31年卒)『災害軽減に心血をそそいだ地震学者 菊地正幸教授』
菅原淑子(昭和34年卒)『篝火 - 菅原淑子句集』
千田捷熙(昭和36年卒)『夢魂の人 高野長英私論』
菊地勇喜(昭和27年卒)『日本紀行 語源探訪』
菊地正幸(昭和41年卒)『リアルタイム地震学』
菊池恩恵(昭和47年卒)『失われた弥勤の手』他

このほかにも、たくさんの書籍のご寄贈を賜り感謝申し上げます。また、書籍以外に100周年記念誌のための諸資料も拝受しております。ありがとうございました。

後輩も頑張っています

最近3年間の大学合格状況

Table showing university admission statistics for the last 3 years (2019-2021) across various categories like National, Private, and Public universities.

※但し、平成19年度は6クラス、他は7クラス。

三訂 ゴヒ 綱子 幸氏 平成21年(2009年)8月8日(土曜日)

電波星同時に3個発見
岩手の高校生グループ 専門家びっくり、快挙
記事内容: 岩手県立大学の高校生グループが、アマチュア天文観測で、同時に3個の電波星を発見したと発表された。

2009年(平成21年)11月24日(火曜日)

及川・金野君組 水高
来月1月 全国大会に出場
記事内容: 水高高等学校の及川君と金野君が、全国大会に出場することになった。

2009年(平成21年)9月26日(土曜日)第21953号

英語の楽しさ伝える
南都田小で出前授業
水沢高生
記事内容: 水沢高等学校の英語科が、南都田小学校で出前授業を行った。

児童たちと一緒に英会話を
楽しむ水高生(中央)
記事内容: 水高高等学校の生徒が、児童たちと一緒に英会話を楽しんでいる。

同窓会・育英会・創立100周年記念事業へのご寄付について

同窓会一般会計と水高育英会へのご寄付につきましては、過年度までたくさんの方にご協力を賜りましてありがとうございました。平成21年及び22年については、創立100周年記念事業へのご寄付に絞ってお願い申し上げてきたところですが、今年度のご寄付の中でも数件は是非とも同窓会に、または育英会にとご厚情を賜りました。本当にありがとうございました。

平成22年のご寄付につきましても、基本的には創立100周年記念事業へのご寄付に絞りたいと事務局では考えておりますが、是非にという場合にはお断りするものではございませんので、創立100周年記念事業へのご寄付の振込用紙にその旨をご記入下さい。事務局の方でそれぞれの部署に連絡して適正にお取り扱いいたします。

なお、今回の同窓会報にも振込用紙を1部同封しております。さらに振込用紙がお入り用の場合は創立100周年記念事業事務局までご連絡下さい。

平成22年度 岩手県立水沢高等学校 同窓会 総会

日時 平成22年 8月14日(土)
場所 水沢グランドホテル
水沢区東町40
TEL 25-8311

各種お問い合わせ先

岩手県立水沢高等学校 及び 同窓会事務局
〒023-0864 岩手県奥州市水沢区龍ヶ馬場5-1
TEL 0197-24-3151・3152 FAX 0197-22-3037
メールアドレス yukinokisyo@msw-h.iwate-ed.jp
岩手県立水沢高等学校創立100周年事務局(水沢高校内)
TEL・FAX(共用) 0197-23-3212
メールアドレス mizuko-100s@violet.plala.or.jp

◆「」注意願います◆

近年、同窓会および学校の名をかたつて、「同窓生名簿を作り直すため」などと称して、卒業生の連絡先を聞き出そうとする電話が、卒業生の実家などに頻繁にかかっています。中には「同窓会の〇〇だが」「事務室の□□だが」と偽名を名乗ってしつこく聞き出そうとするケースもあるようです。学校から、卒業生・在校生に聞ける個人情報を聞き出すことは一切ありません。また、同窓会においても住所変更などのご連絡をいただいた際に、確認のために事務局からご連絡を差し上げることがありますが、この場合もあくまでも確認の範囲ですので、どうかご注意ください。なお、ご家族の皆様にもご注意ください。

◆お願い

宛先不明で戻ってくる会報が多くなっております。住所変更の際には、お手数ですが同封のファックス用紙Iにて本校の同窓会事務局または創立100周年事務局まで一報くださいようお願いいたします。なお、お電話やメールでのご連絡の際には、同窓会報を送付した封筒の宛名の下に付している番号もお伝えいただけますと大変助かります。

※1 個人情報保護の観点から、名簿は事務局および会報発送業者以外は一切取り扱いません。情報が流出しないようにしております。

※2 名簿を発行しないのかとのお問い合わせが増えています。今後は名簿を発行せずに、事務局内で管理・運用することといたしますのでご了承下さい。同級会開催等のために必要な場合は、事務局までお問い合わせ下さい。

◆事務局からのお知らせ◆

平成19年4月から、卒業生等が卒業証明書等の交付を受ける場合、手数料が必要になります。一通あたり、400円分の岩手県収入証紙(購入場所：岩手銀行、市役所、各地方振興局等)を添付して申請して下さい。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

編集後記

いよいよ創立100周年の年となりました。記念事業の準備も同窓生諸氏を始めとして、在校生諸君や地域の皆様に支えられて、大詰めの段階に入って参りました。新たな百年に向けて、生徒諸君も勉学と部活動に大きな成果を上げてきています。

皆様からの、今まで以上のより一層のご支援とご声援をいただければ幸いです。